

平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	清原
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	4246 児童クラブ運営事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02020900 子育て環境の整備												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童クラブ費											
	事業	010000 児童クラブ運営事業											
事業目的						事業概要・効果							
留守家庭児童に放課後児童健全育成事業を推進するため、児童クラブの運営を行う。						8児童クラブを運営と、3町及び1民間の団体に児童クラブの運営を委託。 スポーツ・文化・交流活動推進事業の実施。 児童クラブの施設維持管理。							

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	登録児童の放課後健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。 職員の巡回による、相談・指導を実施した。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
登録児童の放課後健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営。 職員の巡回による、相談・指導。	

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		47,569	50,851
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	24,619	24,103
	地方債	0	0
	その他	10,132	10,094
一般財源		12,818	16,654
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.5	0.5
人員 コスト	正規職員	4,114.8	4,114.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	588.5	588.5
	計	4,703.3	4,703.3
市民一人当たりの経費		1.0	1.1
総額		52,272.3	55,554.3

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	35	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼 34,560円
11節 需用費	3,164	消耗品費1,917,977円 燃料費282,650円 食料費7,281円 光熱水費 624,318円 修繕料318,452円 医薬材料費12,467円
13節 委託費	8,487	3町、1民間児童クラブ事業委託料 8,486,500円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	80	児童館連絡協議会負担金 80,000円
その他	35,803	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	52	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼 520,000円
11節 需用費	3,631	消耗品費2,096,000円 燃料費356,000円 食料費20,000円 電気料372,000円 水道料206,000円 下水道使用料123,000円 修繕料
13節 委託費	8,487	3町、1民間児童クラブ事業委託料 8,487,000円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	88	児童館連絡協議会負担金 80,000円 会議等出席負担金 8,000円
その他	38,593	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	留守家庭児童の放課後児童健全育成事業を推進するため。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	保護者が安心して就労でき、児童が安全に放課後を過ごすことができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	児童厚生員の研修や、職員間の情報交換を実施。 職員の各児童クラブへの巡回による指導・相談。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
職員の各児童クラブの巡回により、適切な指導・相談教務を継続する。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>放課後における児童の健全育成のため、適切な児童クラブ運営を行った。主任会議等で各児童クラブ間の情報交換を行い、情報を共有しながら事業を進めている。</p>		<p>児童が安全に放課後を過ごすことができ、また保護者が安心して就労できるための児童クラブ運営が実施できた。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	